

教育目標

ひ ら こう 世界 へ
の び よ う と も に
つ く ろ う 夢 を
こ え よ う 自分 を

紙面から

被災地に学ぶ生きるカプロジェクト、夏季教員研修…1
ひのっ子ががんばってます、わかば教室、
勝五郎生まれ変わり特別展、他 …………… 2~3
図書館開設50周年、トップアスリートがやってくる、他・4

被災地に学ぶ 生きるカ プロジェクト



それぞれの学校の特色ある生徒会活動について紹介し合い、情報を共有しました。

今年度も、被災地に学ぶ生きるカプロジェクトメンバーとして日野市の中学生15名が、8月18日から20日までの3日間、宮城県気仙沼市を訪問しました。

初日は、被災した語り部さんの話を伺いながら、気仙沼市の向陽高校跡や陸前高田の一本松等を見学し、また、街並みからどのように復興しているかを目の当たりにしました。

2日目の気仙沼中学校との交流では、はじめに心ほぐして自己紹介等をゲーム形式で行い、お互いの名前を覚えていきましました。緊張していた顔も一気にほぐれ、距離が縮まった時間となりました。



気仙沼中学校の生徒たちは、震災を通して「思いやる・助け合う・協力」を大切に過ごしていることを交流の中からも感じることができました。

その後、災害発生時にできることや災害に備えて、自分たちでできることを話し合いました。気仙沼中学校の生徒たちから被災した当時の様子を聞きながら、一人一人が自分ができることを考える時間となりました。



3日間の行程が終了し、子供たちから出た感想は、「どこに行っても、被災された方々が口を揃えておっしゃるのは、被災地で聞いたことを伝えて欲しいということだったので、インターネットや本・資料だけではわからなかったことを責任をもって伝えていきたい。」ということでした。同じ中学生が違う土地で何を思い、これからの未来をどう考えているのかということを知り、「生きる力」を育む良い機会となりました。

(学校課)



それを受けて、今自分たちに何ができるかを事後活動として話し合い、実践していきます。

3日目は、ボランティア活動として、これまでの3日間で感じたことを心に留めながら海岸清掃を行いました。

未だに衣服が多くあり、津波で流された家のものなど何ったときには、胸に突き刺さるものがありました。



夏季教員研修全体研修会を終えて…

7月22日(水)に、市民会館大ホールにて、毎年恒例の幼・小・中学校の教員が一堂に会して夏季教員研修全体研修会を開催しました。

今年度は、第一部では、筑波大学附属小学校の盛山隆雄先生と明星大学の小貫悟先生を講師に迎え「ユニバーサルデザイン」の視点による授業について研修を行いました。

第二部では、国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官である小松信哉先生に「全国学力・学習状況調査から見えてきた日本の子供の学力」をテーマにご講演をいただきました。

第一部の前半では、盛山隆雄先生に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を日野第五小学校4年1組児童を対象として行っていたことができました。盛山先生の発問により、子供たちが活発に発言する場面がたくさんありました。盛山先生と、初めて会う子供たちとの授業前の交流も見せていただき、子供と教師の信頼関係が、よりよい授業につながっていくということについても学ぶことができました。

後半は、盛山先生と小貫先生から、ユニバーサルデザインについて、前半の授業を踏まえながら話をしていたいただき、活用できるところについて、多くのヒントをいただきました。

第二部では、小松先生のご講演を通して、全国学力・学習状況調査を分析し、よりよい授業改善へとつなげていくためには「誤答の背景は何か」「どのような力を伸ばさなければよいか」といったことについて考えることが大切であると学びました。子供たちがもっている力を引き出し、称賛したり価値付けたりしながら授業を進めていくことが、子供たちの資質・能力の育成に向けた授業改善の根底にあるということ学びました。

三人の先生による研修会を通して学んだことを、二期期から実際に生かしていきたいという感想が、受講された多くの先生方から出されました。子供たちの力を伸ばすため、よりよい授業を目指す先生方の意欲を高める研修会となりました。

(学校課)

コラム

地域で育まれるひのっ子の心



日野市公立中学校校長 会長 高橋 清吾
大坂上中学校校長

ある自治会の夏祭りで見学機会がありました。小学生、中学生、高校生が大人に交じって一心に見事に演じる姿に、こうして地域の伝統とつながりが受け継がれ、大人との関わりで人情の機微といったものを学んでいくのだと思いました。祭りの会場で大人が子どもたちに注意する場面がありました。それは、後ろにいる人のことを考えて行動するということでした。学校でも行事や道徳授業を通して、マナーも含めて、心遣い、思いやりの心を育んでいきます。しかし、よりよい人間関係を築くには家庭、地域社会も含まれた経験が大切です。そのことの積み重ねがいじめ問題等の解消につながると考えています。



がひのっ子 ばんぼつ子 つてます

日野第七小学校

第4学年
第65回 社会を明るくする運動
子ども・いきいきふれあいス
テージ

7月4日(土)に大坂上中学校
で行われた「子ども・いきいき
ふれあいステージ」に4年生が
参加し、合奏・合唱を披露し
ました。曲名は「花は咲く」「怪
獣のパレード」です。

「花は咲く」の合奏では、リ
コーダーと鍵盤ハモ二カを
使って心を込めて丁寧に演奏し
ました。「怪獣のパレード」の
合唱では、笑顔で元気に楽しく
歌い、元気いっぱい4年生の
歌声が体育館に響きました。



南平小学校

南平アトムズ

悲願の都大会初優勝

小学生の甲子園へ!!

日野市立南平小学校の児童を
中心とした少年野球チームの「南
平アトムズ」は、高円宮賜杯第
35回全日本学童軟式野球大会マ
クドナルド・トーナメントの東
京都大会において、見事に優勝
いたしました。大会の初戦から
接戦を制して波に乗り、チーム

創立40周年にあたる今年、悲願
達成となりました。青柳博雄監
督の目指す「全員で一点を取り、
全員で守る」アトムズ伝統の野
球を貫いた結果の東京都大会初
優勝でした。



残念ながら、全国大会では、
1回戦で岐阜県代表の小泉クラ
ブに7対5で惜敗し、夢の全国
制覇はなりませんでしたが、し
かし、アトムズの子供たちの全
力を出し切ったプレーは、応援す
る人たちの心に響きました。負
けて流した涙は、大きな力と
なって子供たちの財産となるこ
とでしょう。今後の活躍にも期
待したいですね。

夢が丘小学校

本校は日本の伝統・文化の
良さを発信する能力・態度の育
成事業指定校」として、国際交
流に積極的に取り組んでいます。
6月には、スリランカからのお
客様をお迎えして、7月には
JETプログラムで都立松が谷
高校に派遣されているアメリカ・
カリフォルニア州出身の学生さ
んと、また昨年度に引き続き、
明星大学の中国からの留学生と
も交流学習を実施しました。互
いの国の生活や文化について発
表し合ったり、外国の遊びを教
えてもらったり、お箏や和太鼓
と一緒に演奏する活動を通して
子供たちは
日本の伝
統・文化を
学び、その
良さを広く
海外の人々
に発信しよ
うと頑張っ
ています。

これより、保護者・地域・市
民の皆様の応援を胸に、10月11
日に開催される全国コンクール
に出場し、日本一を目指します。
当日の様子は、NHK Eテレ
で生中継されます。皆様の応
援をよろしく願っています。

関東甲信越各都県から代表16
校が出場する中、七生緑小合唱
団は、課題曲「地球をつつむ歌
声」、自由曲「くじけになりた
い」を澄んだ声で心豊かに歌
い上げ、金賞受賞3校に選ばれ
ました。

陸上競技部
第82回NHK全国学校音楽コン
クール
全国コンクールに3年連続・通
算5回出場決定!

一昨年・昨年と、2年連続で
全国コンクール金賞受賞を果た
した七生緑小合唱団は、8
月2日の東京都コンクール本
選で、いずれも金賞を受賞。い
よいよ、9月6日の関東甲信越
ブロックコンクールに臨みまし
た。

陸上競技選手権大会
第42回全日本中学校
女子3年200m 第3位
山内さくら
女子3年100m 第5位
山内さくら
女子共通4×100m R
女子共通4×100m R

陸上競技選手権大会
第42回全日本中学校
女子3年200m 第3位
山内さくら
女子3年100m 第5位
山内さくら
女子共通4×100m R
女子共通4×100m R

水泳部
第39回関東中学校
水泳競技大会
自由形1年50m出場
米田 ほか

水泳部
第39回関東中学校
水泳競技大会
自由形1年50m出場
米田 ほか

陸上競技選手権大会
第42回全日本中学校
女子3年200m 第3位
山内さくら
女子3年100m 第5位
山内さくら
女子共通4×100m R
女子共通4×100m R

陸上競技選手権大会
第42回全日本中学校
女子3年200m 第3位
山内さくら
女子3年100m 第5位
山内さくら
女子共通4×100m R
女子共通4×100m R

水泳部
第39回関東中学校
水泳競技大会
自由形1年50m出場
米田 ほか

水泳部
第39回関東中学校
水泳競技大会
自由形1年50m出場
米田 ほか

陸上競技選手権大会
第42回全日本中学校
女子3年200m 第3位
山内さくら
女子3年100m 第5位
山内さくら
女子共通4×100m R
女子共通4×100m R

陸上競技選手権大会
第42回全日本中学校
女子3年200m 第3位
山内さくら
女子3年100m 第5位
山内さくら
女子共通4×100m R
女子共通4×100m R

水泳部
第39回関東中学校
水泳競技大会
自由形1年50m出場
米田 ほか

水泳部
第39回関東中学校
水泳競技大会
自由形1年50m出場
米田 ほか

陸上競技選手権大会
第42回全日本中学校
女子3年200m 第3位
山内さくら
女子3年100m 第5位
山内さくら
女子共通4×100m R
女子共通4×100m R

陸上競技選手権大会
第42回全日本中学校
女子3年200m 第3位
山内さくら
女子3年100m 第5位
山内さくら
女子共通4×100m R
女子共通4×100m R

水泳部
第39回関東中学校
水泳競技大会
自由形1年50m出場
米田 ほか

水泳部
第39回関東中学校
水泳競技大会
自由形1年50m出場
米田 ほか

日野市適応指導教室 『わかば教室』

日野市適応指導教室『わかば
教室』は、市内公立小中学校に
在籍し、登校し方や不登校状
況にある児童・生徒が通室しな
がら学校復帰や社会的自立を
目指す教室です。

教室は日野市立教育センター
の3階にあり、現在小学生13名
中学生26名、計39名の児童・生
徒が通室しています。

支援や指導は、わかば教室担
当の所員4名(eラーニング
担当含む)、指導員4名、カウ
ンセラー2名、が行っています。
また、学生ボランティア(明星
大・その他の大学生20名が児
童・生徒のよき相談相手、よき
学び相手、よき触れ合い相手と
して活動しています。

教室では通室生の学習進度に
応じた学習を進めながら、SS
T(ソーシャル・スキル・トレ
ーニング：社会生活技能訓練
や栽培・遠足等の体験的活動を
採り入れ、自立への成長と基礎
学力の定着を目指した支援を行
っています。また、個別の学習
支援の一環として、eラーニ
ングを週2回実施し、通室生が
それぞれの習熟に応じた個別学
習を行っています。

わかば教室への通室は、各在
籍校、教育委員会、発達・教育
支援センター(エール)等、各
公的機関からの紹介が主です。
初めは、見学・面談からスタ
ートし、体験通室、正式入室(通
室)という形になります。
入室のための書類は、体験通
室の様子を見てから提出しても
らいます。

登校し方や不登校の状況に
ある児童・生徒の保護者の皆様
は、まず、見学・面談を考慮さ
せていただければと思います。
見学・面談は次の電話番号に
午前8時30分午後4時30分の
間にお願います。わかば教室
直通です。
電話592-10863
(教育センター)

また、市内小・中学校及び関
係機関と情報交換を行い、支援
に役立っています。
中学3年生には、高校進学を
目指した進路支援を、在籍校の
補助的活動として行っています。
昨年度の中学3年生には、進路
情報の提供、作文の書き方・面
接練習・書類の書き方等の支援
をしました。

夏季休業中は、通室生のため
に補習(自学・自習)の時間と
して前半と後半に教室を開放し
ています。また、通室日を8月
の初旬と下旬に1日ずつ設けて
います。

最近歯科検診を受けましたか?
歯を失う一番の原因である歯周
病は成人の約8割がかかっている
といわれています。歯周病は、
早産や糖尿病など全身疾患との
関係も明らかになってい
ます。お子さんのお口の健康だけ
は、お母さんお父さんの健康
を守るためにも、かかりつけ歯
科医を持ち、お口の検診を受診
しておりますので、ぜひご利用
ください。

詳細は日野市HPで「日野市
お口の健康診査」で検索
【問合せ】健康課
電話581-4111

平成28年度から使用する
日野市立中学校教科用図書の
採択結果について

平成27年8月13日教育委員会
定例会において、平成28年度か
ら平成31年度まで使用する中学
教科用図書の採択を行いました。
ので、お知らせします。

種目	図書発行者
国語	光村図書出版
書写	学校図書
社会(地理)	帝国書院
社会(歴史)	東京書籍
社会(公民)	東京書籍
地理	帝国書院
数学	新興出版社啓林館
理科	大日本図書
音楽(一般)	教育芸術社
音楽(器楽)	教育芸術社
美術	日本文芸出版
保健体育	学研教育みらい
技術(家庭技術)	開隆堂出版
技術(家庭技術)	東京書籍
英語	三省堂

お父さんお母さん、
お口の検診受けていますか?

